

公益社団法人日本トライアスロン連合
2022 年度（令和 4 年度）第 1 回定時理事会 議事録

[1] 開催：2022 年 6 月 7 日（火）13 時 00 分～17 時 46 分

- ・会議形式：実会議とインターネット・ウェブ会議（ZOOM）併用
- ・主催会場：Japan Sport Olympic Square 3F 会議室（新宿区霞ヶ丘町）

[2] 出席（理事 26 名、監事 3 名）

岩城光英、仲井公哉、中山正夫、岸田吉史、鈴木貴里代、森幸、豊岡正康、園川峰紀、川添勝、宮本悦子、大野徹雄、須山浩光、村上幸生（以上、理事 13 名会場出席）
飯島健二郎、大塚眞一郎、山倉紀子（15：31 退席）、村瀬訓生、山根英紀、富川理充、原澤敦美、佐藤圭一、齋藤れい（14：38 出席）、石井なおみ、菊地日出子（15 時 33 分）、大関辰郎、島津寿江（以上、理事 13 名オンライン出席）
萩原政吉、秋山智昭、齋藤栄太郎（15：32 退席）（以上、監事 3 名オンライン出席）

- ・オブザーバー（2 名）
近藤邦宏（トライアスロン HPD/AD）、土屋佳司（パラトライアスロン HPT/MGR）
- ・事務局出席（8 名）坂田洋治、児玉健太、長江千明、島村直子、小池賢、大岩葵、内藤裕也、萩原舞（議事録作成）

[3] 議事の経過

JTU 定款第 6 章（理事会）第 34 条（決議）により、ウェブ会議進行役の児玉事務局次長が、利益相反による一時離席などについて説明の後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。

会議の冒頭に弔事対応を行い、業務執行理事を代表して会長レポートを読み上げた。

定款 33 条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を行い、同第 23 条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された。その後、定款第 35 条（議事録）により、岩城会長、萩原監事を議事録署名人、大塚専務理事、宮本理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者に事務方を指名し、議案の審議に入った。

[4] 決議事項

第 0 号議案）2022 年度（令和 4 年度）臨時理事会 議事録

2022 年度（令和 4 年度）臨時理事会（4/14）の議事録案について、メール回覧済であるとの児玉事務局次長の報告があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項）2022 年度（令和 4 年度）臨時理事会（4/14）議事録

第 1 号議案）2021 年度（令和 3 年度）事業報告・決算報告・監査報告（案）

1) 2021 年度（令和 3 年度）事業報告（案）

標題について坂田マーケティング・事業局長より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 2021 年度（令和 3 年度）事業報告（案）

2) 2021 年度（令和 3 年度）決算報告（案）

標題について大塚専務理事より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 2) 2021 年度（令和 3 年度）決算報告（案）

3) 2021 年度（令和 3 年度）監査報告（案）

標題について秋山監事より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 3) 2021 年度（令和 3 年度）監査報告（案）

第 2 号議案）2022 年度（令和 4 年度）事業計画・第一次補正収支予算（案）

1) 2022 年度（令和 4 年度）事業計画修正案

標題について坂田マーケティング・事業局長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 2022 年度（令和 4 年度）事業計画（修正案）、

説明骨子）前回定時理事会（3/23）からの修正・追記事項として、大会事業における一部国内大会の中止・延期、開催地の公募による日本スプリント選手権（蒲郡）、日本スーパープリント選手権（寒河江）の会場決定及びアジア競技大会（2022/杭州）の延期等を掲載した。

2) 2022 年度（令和 4 年度）第一次補正収支予算（案）

標題について大塚専務理事より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛

否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 2) 2022 年度（令和 4 年度） 第一次補正収支予算（貸借対照表）案（定款第 27 条に基づき役員報酬総額を含む）
- ・説明骨子）各種助成金額の内定による修正（今後助成金の追加交付が発生した場合、第二次補正収支予算案を理事会に提出する。）
- ・説明骨子）各種助成金申請状況による修正、定款第 27 条に基づき役員報酬総額の追記。今後助成金の追加交付が発生した場合、第二次補正収支予算案を理事会に提出する。

第 3 号議案) 定款変更案

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 定款 第 22 条（役員の配置）の監事定数の変更
- ・説明骨子) 理事定数の 5 名増員への定款変更（2022 年 3 月定時理事会承認）に伴い、監事の定数を 3 名から 5 名に変更する。

第 4 号議案) 2022 年度（令和 4 年度） 社員交代申請

標題について萩原事務局員より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2022 年度（令和 4 年度）社員一覧（47 都道府県）
- ・補足事項) 新規社員（3 名）：茨城県（鈴木但義）、東京都（大村真人）、大分県（園田隆洋）

第 5 号議案) 2022 年度 役員選考委員会関連

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 理事候補 5 名の推薦
- ・説明骨子) 前回臨時理事会（4/14）にて役員選考委員会への審議依頼が承認された 5 名の理事候補について、役員選考委員会の審議の結果、5 名全員の推薦が承認され、2022 年度社員総会の議案として申請する。

第6号議案) 2022年度 専門委員会・組織図

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2022年度 専門委員会・組織図
- ・追加専門委員：技術委員会委員・三井はるみ（神奈川）、トライアスロンハイパフォーマンスチーム情報戦略スタッフ・森谷直樹（東京）、担当コーチグループリーダー・川合貴紀（東京）、同コーリーダー・飯島健二郎（山梨）、同コーリーダー・村上晃史（栃木）

第7号議案) トライアスロンハイパフォーマンスチーム関連議案

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 第19回アジア競技大会（2022/杭州）選考基準（変更案）
- ・承認事項 2) ワールドトライアスロン・アジアトライアスロン公式大会 JTU 出場推薦基準（2021年10月-2024年9月）（変更案）
- ・承認事項 3) 日本スーパースプリントトライアスロン選手権（2022/寒河江）出場基準
- ・承認事項 4) 日本スプリントトライアスロン選手権（2022/蒲郡）出場基準
- ・承認事項 5) 全国高等学校トライアスロン選手権（2022/那須塩原）出場基準
- ・承認事項 6) JTU ジュニアランキング（2022）
- ・承認事項 7) IOC アスリートスカラシップ（2024/パリ）推薦
 - ・対象選手（2名）岸本新菜、北條巧
- ・承認事項 8) JSC スポーツ振興基金助成事業（海外研さん活動）推薦
 - ・対象選手（2名）高橋侑子、ニナー賢治
- ・承認事項 9) JSC スポーツ振興基金助成事業（アスリート助成）推薦
 - ・対象選手（2名）安西琴美、中山彩理香

第8号議案) パラトライアスロン・ハイパフォーマンスチーム関連議案

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) JSC スポーツ振興基金助成事業（アスリート助成）推薦
 - ・対象選手（3名）宇田秀生、木村順平、秦由加子

第9号議案) マルチスポーツ対策チーム関連

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2023年ワールドトライアスロンLDトライアスロン世界選手権(エリート)選考基準案

第10号議案) 資格関係

第10号議案-1) 2022年度JTU公式大会技術代表(TD)・審判長(HR)

標題について川添理事/審判委員長より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2022年度JTU公式大会技術代表(TD)・審判長(HR)

第10号議案-2) ワールドトライアスロン(IF)レベル1セミナー新規・更新

標題について鈴木常務理事より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2022年4月に開催されたワールドトライアスロン(IF)レベル1セミナーで合格見込みとなった次の8名をワールドトライアスロンに申請する。
瀬川 寛(愛知)、鈴木 人呂信(愛知)、丸 尚宏(千葉)、三井 はるみ(神奈川)、白石 俊己(神奈川)、浅野 拓哉(神奈川)、篠原 知美(東京)、松原 築(東京)

第10号議案-3) 2022年JSP0コーチ3資格新規規程

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) JSP0コーチ3設置における初年度実施要項、カリキュラム構成、受講者リスト(24名)

第10号議案-4) 令和4年度JSP0公認スポーツドクター養成講習会 候補者推薦

標題について萩原事務局員より説明があり、質疑などないことが確認され、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 令和4年度公認スポーツドクター養成講習会新規受講者 推薦案

審議進行に関わる確認)

議長に代わり児玉事務局次長が、審議に関わるインターネット接続等において聞き取れなかったことや発言できなかつたことなどがないかを確認した。格別な発言がなく、インターネットによる議事進行は滞りなく行われたことを確認し報告した。

[5] 報告事項

- 1) アジアトライアスロン・国際・ワールドマスターズ (2026年5月) 開催関連
 - ・アジアトライアスロンの会長代理事案、今後の選挙対策等を視野に入れたアジアトライアスロン担当者として、担当者1名(業務委託契約)の設置する。
- 2) ガバナンスコード準拠状況・地域法人化
 - ・各ブロックでの法人化進捗状況、および千葉県トライアスロン連合の法人化報告等。
- 3) 中長期経営計画案進捗状況・役員アンケート他
 - ・中長期経営計画ビジョンの構成案、役割・目標・約束等のイメージ共有。
- 4) 2022年大会関連状況
 - ・横浜ワールドチャンピオンシップシリーズの報告、近畿ブロック独自のエイジグループランキングスタート、等。
- 5) 2022年度専門委員会関連報告
 - ・高校生普及委員会からの調査報告(高校生アスリートの参加可能大会等)等。
- 6) 2022会員登録状況
 - ・2021年度登録人数…2019年比59%、2020年度比79%。
 - ・ワンデー登録の活用推進。
- 7) 2022トライアスロン保険関連
 - ・スクール保険の新設。
- 8) ブロック報告等
 - ・各加盟団体より、大会開催、事業運営等の報告。

[6] 次回理事会：2022年6月21日(火) 2022年度臨時理事会開催予定

[7] 閉会宣言

仲井筆頭副会長のあいさつの後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、17時46分に閉会した。

議事録署名と確認：

(岩城光英・議長・会長・代表理事) (印) 2022年 月 日

(萩原政吉・監事) (印) 2022年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事) (印) 2022年 月 日

(宮本悦子・理事) (印) 2022年 月 日

=以上=